



開校34周年

三小だより

令和5年6月29日 発行
〈7月号〉
江戸川区立南葛西第三小学校
校長 佐久間 貴広

つい先日新学期を迎えたと思ったらもう7月に入り、あと20日ほどで終業式を迎えます。日頃の学習に加え、運動会などの行事を通して、一人一人の成長が見られた三か月でした。成功だけでなく、数々の失敗を経験しながら子供たちは成長していきます。例年、終業式に渡している「あゆみ」では、担任が指導し、見取ってきた子供たちの努力や成長を「所見」としてお伝えしてきました。4月の保護者会でもお知らせしましたが、今年度は、1学期の所見を記載せずに、代わりに夏季休業日中の個人面談でより具体的にお伝えします。保護者の皆様には、日程の調整等お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、携帯電話やスマートフォンが日常の通信手段・生活用具としてすっかり浸透しています。また、GIGAスクール構想により子供たちにも一人一台タブレットが貸与されるなど、私たちの生活にデジタル機器がなくてはならない時代になりました。しかし、時代が大きく変化しても、「読むこと」と「書くこと」が学習の基本だと思えます。

「読む」とは、一つのまとまった考えや作品の世界にふれるということ、こうした物語や作品をきっかけに、「何を感じ、何を考えるか」ということが大切です。その人の感じ方や考え方は、その人がそれまでに読んだり見たりしてきたことや、経験の積み重ねが基になっており、人間性そのものだとも言えます。同じ物語を読んでも、内容の受け止め方が違うこともあります。そして、同じ映画を見ても、同じ講演を聞いても、それを自分の心の栄養にする人、心豊かにできる人とそうでない人がいます。本を読むということは、自分自身の考えを深めたり、見つめたりすることができる方法の一つなのだと思います。

桑の葉を食べて、蚕だけが絹を吐きます。「牛の飲む水は乳となり、蛇の飲む水は毒となる」ということわざがありますが、読書という水を飲んで栄養たっぷりの乳にして、自分自身の心を豊かに変えていきたいです。

また、読書は、脳への知的刺激として大きな効果があるそうです。つまり、読書は、私たちの脳への栄養です。「ささやかな読み」でもいいので、子供たちには毎日続けてもらうことで、感じ方、考え方を磨いていてほしいですし、それが人間的魅力の源になっていくように思います。

江戸川区が推進する「読書科」の取組を受け、本校では、週に二度の朝読書を継続して行っています。静かに本の世界に浸る様子が見られます。また、梅雨入りし、外で遊べない休み時間に、教室で本を読んでいる子や、図書室に本を借りに行く子の姿に、本を読むことを好きな子や楽しむ子がいることを嬉しく思います。これから迎える夏休み、子供たちにはたくさん本と出会い、心に栄養をたっぷり蓄える、そんな夏にしてほしいです。

音楽リコーダー

第3学年 瀧澤 祐子



三年生になり、新しく学習する社会科や理科に少しずつ慣れてきた様子が見られます。専科の学習の教室移動も時間内に行えるようになってきました。いろいろな楽器に囲まれた音楽室での学習では、リコーダーが始まりました。まずは「シ」の音を吹く練習を行っています。「こんにちは」の挨拶をリコーダーで表現したり、「シ」の音だけでリズムを変えてピアノの伴奏に合わせて吹いたりしています。タンギングや息の出し方が難しく綺麗な音色には時間がかかりそうですが、先生のアドバイスに耳を傾けてそうと吹くと綺麗な音色になり、子供たちから笑顔が見られました。

社会科見学

第4学年 中川 百花



6月16日（金）に4年生は、大田清掃工場、水の科学館、砂町水再生センターへ社会科見学に行きました。大田清掃工場では、実際に工場内のごみ処理の設備を見学し、ごみクレーンでごみを運ぶ様子に興味津々な姿が見られました。水の科学館では、館内を班の友達と一緒に回り、水を使った実験やシアターなどを楽しく体験しました。砂町水再生センターでは、水がきれいになっていく様子を「目」と「におい」で体験しました。

今回の体験を生かして、これから自分たちにできることを、みんなで考えていきたいと思います。

放課後補習教室

算数習熟度別指導担当 本間 未卯



三小では、放課後に学年の教員と勉強する補習教室を行っています。週に1、2回の頻度で実施し、夏休み前までに10回実施する予定です。各学年1クラスに集まり、漢字や計算のプリントを解いたり、欠席時の授業内容について学習したり、個人に応じた課題に取り組んでいます。放課後に補習教室で学んだことを、日々の学習に生かしていけるように指導しています。

補習教室に参加する児童の保護者の方には、事前に担任から「補習教室連絡カード」を使ってお知らせをしています。引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。